

はびきの市民大学

令和6年度 単位認定講座 募集要項

後期

- 【場 所】 羽曳野市立生活文化情報センター(LIC はびきの)内施設
- 【定 員】 講座⑩～⑲各 60 人 ※先着順。定員に達し次第締め切りとなります。
- 【申込期間】 講座⑲10月1日(火)～11月2日(土)
講座⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱10月1日(火)～11月21日(木)
- 【受講料】 講座⑩⑪⑫⑬⑭⑮(全6回)各 3,000 円、講座⑲(全6回・材料費含む)3,300 円
講座⑰(全12回)6,000 円
- 【申込方法】 ①来館、②インターネット(はびきの市民大学のホームページ)、③電話

※①・②・③の数字は申込優先順位です。



- ・講座により申込期間が異なります。
- ・10月14日(月・祝)、11月3日(日・祝)、4日(月・振休)は、祝日のため来館・電話での申込はできません。
- ・初日は電話がつながりにくい場合がございます。
- ・複数名分を一度にお申し込みすることはできません。

【支払方法】 来館・銀行振込



- ・申込に来館された場合、お支払いは同時に行っていただきます。事務局が案内する期日内に、受講料をお支払いください。一旦、納付された受講料は返金できません。
- ・来館でのお支払いは9時00分～17時00分まで
- ・お支払いは現金のみ

【対 象】 市内及び市外を問わず、どなたでもお申し込みできます。

※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

※内容については予告なく変更になる場合がございます。

※障害への配慮が必要な場合はご相談ください。

※情勢により、感染予防対策をお願いする場合がございます。

ご理解、ご了承のほどお願いいたします。

<お問合せ>

はびきの市民大学(業務受託者:株式会社みのりの里)

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号

羽曳野市立生活文化情報センター(LIC はびきの)内

【TEL】072-950-5503 【FAX】072-950-5650

開室時間 9時00分～17時30分(祝日・振替休日・年末年始を除く)



1 単位

金曜日 10時30分～12時00分

最高の老後を送るには、元気があり老いても病気になることが老後を送る必須要件となります。今回の6回の講座は、高齢者によく見られる病気を事前に予防するのに役立つ内容となっています。本講座で学んだ知識を活用して、元気で安心の老後を送って下さい。



⑩元気で安心の老後を送るための実践健康講座

1	12/13	長生きするのに必要な筋肉を増やして万病を予防する	大阪大谷大学 名誉教授 廣谷芳彦
2	12/20	しつこい疲労は自律神経からのSOS! 放置すれば老化にも影響	
3	1/10	歯や口の不調が老化に直結…まず、口の中を見ることから始めよう	
4	1/17	最新版・人間ドックの上手な受け方 もう先延ばしにしない! 人間ドックへ行こう	
5	1/24	認知症は予防できる!? 最新研究から見えてきたその方法とは	
6	1/31	健康への近道は病気の前兆を知ることから始まる	

2 単位

金曜日 14時30分～16時00分

例年開催している、文化遺産、無形遺産、世界の記憶(世界記憶遺産)に題材を求めた講座です。今年は、文化遺産では昨年度の聴講生からご要望のあった、東アジアの巨大墳墓、韓国伽耶の文化遺産にテーマを求めた他、無形遺産では歌舞伎、祇園祭、世界の記憶としては朝鮮通信使、藤原道長の御堂関



白記に関連する講義を行います。文化遺産としては、ヨーロッパの旧石器遺跡、古都奈良の文化財から元興寺について詳しく話をさせていただくことになりました。また、一風変わった講義として、世界遺産は国際的な価値ですので、英語でどのように世界遺産が語られているのかを勉強してみようとなしなす。

⑰世界遺産講座

1	12/6	世界遺産の動向・今年度の世界遺産講座について	藤井寺市教育委員会 文化財保護課 福田英人
2	12/13	御堂関白記の世界	大阪公立大学大学院文学研究科 准教授 磐下徹
3	12/20	日本仏教はじまりの寺 元興寺の歴史	公益財団法人 元興寺文化財研究所 主任研究員 服部光真
4	1/10	東アジアの巨大墳墓	大手前大学国際日本学部 教授 森下章司
5	1/17	世界遺産「伽耶古墳群」の価値と保存管理	大阪府教育庁文化財保護課 課長補佐 土屋みづほ
6	1/24	役者絵から観た歌舞伎	立命館大学大学院文学研究科/ 日本学術振興会 特別研究員(DC) 戸塚史織
7	1/31	朝鮮通信使と雨森芳洲 ～誠信外交の実践者～	高月観音の里歴史民俗資料館 学芸員 佐々木悦也
8	2/7	「飛鳥・藤原」の世界遺産登録の取り組み	明日香村教育委員会 文化財課長 小池香津江
9	2/14	世界遺産 旧石器時代研究の聖地 -仏国・レゼジー-	大阪府立弥生文化博物館 学芸顧問 秋山浩三
10	2/28	英語で読み解く世界遺産	聖心女子大学・恵泉女学園大学 講師 山内奈美子
11	3/7	京 祇園祭の歴史	奈良大学文学部史学科 教授 河内将芳
12	3/14	百舌鳥・古市古墳群登録5年を振り返る	藤井寺市教育委員会 文化財保護課 福田英人

1 単位 土曜日 10時30分～12時00分

20世紀後半の日本は、政治だけでなく経済まで首都圏がリードするようになりましたが、文化の領域で独自の存在感を發揮した人材を、関西は輩出してきました。いずれも故人となりましたが、生前の実像を知る人々や研究者が、その軌跡をたどります。



学長企画講座

⑱関西の大物文化人の軌跡をたどって

1	12/7	小松左京の「果しなき流れの果に」とは？	株式会社イオ代表、元小松左京マネージャー 乙部順子
2	12/14	梅棹忠夫の軌跡 -文明の生態史観から比較文明学へ	国立民族学博物館名誉教授・吹田市立博物館特別館長 中牧弘允
3	12/21	柳宗悦・梅棹忠夫・弘世現 -3人を結ぶ不思議な縁-	元大阪日本民芸館常務理事・博士(地域研究)・不動産鑑定士・(株)三友システムアプライザル鑑定部部长 長井誠
4	1/11	現地講義：田辺聖子文学館	大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館 学芸員 住友元美
5	1/18	日本の知性といわれた山崎正和は、 発想の達人でもあった	元サントリー不易流行研究所部長・追手門学院理事 佐藤友美子 はびきの市民大学学長 河内厚郎
6	1/25	戦後大阪の音楽文化復興と発展 ～朝比奈隆の業績を辿る	音楽プロデューサー・キュレーター 佐谷記世

※第4講義は、現地講義となります。詳細は、別途お知らせいたします。

1 単位 土曜日 14時30分～16時00分

情報化が進む現代のスマート社会では私たちの生活の殆どがデジタル化され、大量の情報として蓄積されています。便利で豊かな社会の構築には、分野横断的な視点から、このような大量の情報をいかに活用するかが肝心です。そこで本講座では、情報システム、金融、経済、語学、スポーツなどの多様な分野における具体的な情報の利活用について学びます。



阪南大学提携講座

⑲スマート時代における情報の利活用

1	12/7	ドローン利活用の歴史と今後	阪南大学総合情報学部 教授 末田航
2	1/11	資産運用のための情報の活用法	阪南大学総合情報学部 教授 中條良美
3	1/25	トランプ札を使った暗号技術で気まずくならず に食事へ誘う	阪南大学総合情報学部 准教授 宮希望
4	2/15	AI時代に外国語を学ぶ意義	阪南大学総合情報学部 教授 真田桂子
5	2/22	スポーツデータサイエンスから読み解くランニングの科学	阪南大学総合情報学部 准教授 岩崎領
6	3/1	経済学から考える情報との付き合い方 ～騙されないために～	阪南大学総合情報学部 教授 新堂精士

個人情報の取り扱いについて

- ご提出いただきました個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適切に管理いたします。また、株式会社みのりの里「個人情報保護方針」のもと適切な取り扱いを致します。
- ご提出いただきました個人情報は、はびきの市民大学事務局が主催する講座の運営、受講生募集を行う目的の範囲内で利用させていただきます。
- ご提出いただきました個人情報は、次の場合を除き、ご本人の同意なしに第三者に提供することはありません。
(1)講座実施にあたり、講座を担当する講師または講座委託会社に受講者のお名前、年代、性別、受講履歴を提供すること。
(2)公的機関からの法令に基づく照会を受けた場合。



1 単位 日曜日 10時30分～12時00分

日本固有の柑橘種の実である橘。日本書記では、垂仁天皇の命を受けた田道間守が常世の国から橘を持ち帰ったとされており、現在はお菓子の神様として各地で祀られています。古くから文化や歴史に登場する橘の魅力を地元や全国で活動している講師がご紹介します。



⑳羽曳野市の木「橘」の魅力

1	11/17	市民活動を通してみる橘の魅力	羽曳野市の木「橘」を広める会 事務局長 増田洋平
2	11/24	橘の実を収穫 その果実を使ったワークショップ	AEAJ認定アロマセラピスト/JAMHA認定ハーバルプラクティショナー 坂下典子
3	12/1	橘の商品開発について	和菓子工房あん庵 店主 松田明 羽曳野ご当地カフェピッキノ オーナー 桑野将二郎
4	12/8	橘本神社と橘	橘本神社 宮司 前山和範
5	12/22	みかんの歴史と橘の関わり	農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 清水徳朗
6	1/12	橘の香り-古代日本人が愛した香りの植物	別府大学 客員教授 吉武利文

1 単位 日曜日 14時30分～16時00分

メディアは社会をうつす鏡です。娯楽作品も含む様々なメディアに人物、家族、出来事がどう描かれているか、それが何を意味しているかを社会学や歴史学の専門家がひもときます。それを通し、私たちの生きる社会の在り方を考えます。



四天王寺大学特別公開講座

㉑メディアがうつす私たちの社会

1	1/12	小説から考える家族の将来～介護と子育ての社会学	四天王寺大学社会学部社会学科 講師 座主果林
2	1/26	メディアとしての音楽～デジタル技術と音楽作品の価値	四天王寺大学社会学部社会学科 講師 吹上裕樹
3	2/2	メディアとしての舞台芸能～宝塚歌劇をめぐって	四天王寺大学社会学部社会学科 講師 牧野雅子
4	2/9	メディアの中のジェンダー表現～CMから朝ドラまで	四天王寺大学社会学部社会学科 講師 田中誠
5	2/16	歴史学者と読む歴史マンガ	四天王寺大学社会学部社会学科 講師 田中誠
6	3/2	中世羽曳野と南朝～壺井八幡宮文書調査報告をかねて	

単位について



【単位について】

年限に関係なく、合計24単位を修得された方へ「はびきの市民大学学士」の学位記を授与します。合計50単位を修得された場合には、羽曳野市長及びはびきの市民大学学長より表彰があります。

- 単位認定講座で所定の出席日数があり、かつ提出のあったレポートの内容が所定の課題を修得したと認められる場合は、単位を修得することができます。
- 単位の認定を受けるには、レポートの提出が必要です。レポートは、受講した講座に関するものであれば内容は問いません。提出の締切日は最終講義日の翌月末です。各講座により異なりますので、ご注意ください。

※詳細は、はびきの市民大学のホームページまたはお電話でお問い合わせください。